



第363号

2016年12月

〒461-0004 名古屋市中区東区2丁目6-35 カトリック名古屋教区広報委員会 「教区ニュース」編集部 電話 (052) 935-2223 FAX (052) 935-2254 印刷所 株式会社 荒川印刷 毎月第1日曜日発行

「宣教地召命促進の日」(宣教地司祭育成の日) (献金) 12月4日 日本にはこれまで海外から多くの宣教地司祭が来て、キリスト教の信仰をもたらしてくれました。現在の信徒数に対して司祭の数は非常に少ないです。宣教地司祭育成の日には、日本だけでなく世界中の宣教地において司祭の育成が大切なことに気づき、そのために祈り、献金を捧げるよう呼びかけています。この日の献金はローマ教皇庁に集められ、全世界の宣教地の司祭育成のために援助金として送られます。

Table with 2 columns: Date and Event Name. Includes '4日 待降節第2主日', '11日 待降節第3主日', '18日 待降節第4主日', '25日 主の降誕', '30日 聖家族'.

城東ブロックの集いで松浦司教講演

「国籍を越えた神の国をめざして」



いテーマに、約300人の参加者が傾聴した。難民移住移動者委員会の委員長である松浦司教はあ

《難民申請問題》 松浦司教は、日本の社会における、海外からの難民や移住者、移動者についてさまざまな問題を取り上げた。そのうちの一つ、難民申請問題について司教は「日本は難民申請してもほとんど認められない国」と言い、国際社会で自国に返してはいけないという難民の

《「みんなの教会」》 司教は「私たちは外国人と接することで変えられる。そうすることで、この国が少しずつ豊かになっていけばと思う。名古屋教区はいろいろな国のたくさんの外国人がいる。私たちの教区に、『国籍を越えた神の国』のしるしがある。今

《「みんなの教会」》 司教は「私たちは外国人と接することで変えられる。そうすることで、この国が少しずつ豊かになっていけばと思う。名古屋教区はいろいろな国のたくさんの外国人がいる。私たちの教区に、『国籍を越えた神の国』のしるしがある。今

《「みんなの教会」》 司教は「私たちは外国人と接することで変えられる。そうすることで、この国が少しずつ豊かになっていけばと思う。名古屋教区はいろいろな国のたくさんの外国人がいる。私たちの教区に、『国籍を越えた神の国』のしるしがある。今

《「みんなの教会」》 司教は「私たちは外国人と接することで変えられる。そうすることで、この国が少しずつ豊かになっていけばと思う。名古屋教区はいろいろな国のたくさんの外国人がいる。私たちの教区に、『国籍を越えた神の国』のしるしがある。今

《「みんなの教会」》 司教は「私たちは外国人と接することで変えられる。そうすることで、この国が少しずつ豊かになっていけばと思う。名古屋教区はいろいろな国のたくさんの外国人がいる。私たちの教区に、『国籍を越えた神の国』のしるしがある。今

松浦悟郎司教による「国籍を越えた神の国をめざして」と題する講演会が9月25日南山教会で開かれた。主催は城東ブ

《「みんなの教会」》 司教は「私たちは外国人と接することで変えられる。そうすることで、この国が少しずつ豊かになっていけばと思う。名古屋教区はいろいろな国のたくさんの外国人がいる。私たちの教区に、『国籍を越えた神の国』のしるしがある。今

緑ヶ丘教会でペルーの祭り

奇跡の主のお祝いは 私たちの信仰の喜びを表す

《「みんなの教会」》 司教は「私たちは外国人と接することで変えられる。そうすることで、この国が少しずつ豊かになっていけばと思う。名古屋教区はいろいろな国のたくさんの外国人がいる。私たちの教区に、『国籍を越えた神の国』のしるしがある。今

《「みんなの教会」》 司教は「私たちは外国人と接することで変えられる。そうすることで、この国が少しずつ豊かになっていけばと思う。名古屋教区はいろいろな国のたくさんの外国人がいる。私たちの教区に、『国籍を越えた神の国』のしるしがある。今

《「みんなの教会」》 司教は「私たちは外国人と接することで変えられる。そうすることで、この国が少しずつ豊かになっていけばと思う。名古屋教区はいろいろな国のたくさんの外国人がいる。私たちの教区に、『国籍を越えた神の国』のしるしがある。今

《「みんなの教会」》 司教は「私たちは外国人と接することで変えられる。そうすることで、この国が少しずつ豊かになっていけばと思う。名古屋教区はいろいろな国のたくさんの外国人がいる。私たちの教区に、『国籍を越えた神の国』のしるしがある。今

《「みんなの教会」》 司教は「私たちは外国人と接することで変えられる。そうすることで、この国が少しずつ豊かになっていけばと思う。名古屋教区はいろいろな国のたくさんの外国人がいる。私たちの教区に、『国籍を越えた神の国』のしるしがある。今

《「みんなの教会」》 司教は「私たちは外国人と接することで変えられる。そうすることで、この国が少しずつ豊かになっていけばと思う。名古屋教区はいろいろな国のたくさんの外国人がいる。私たちの教区に、『国籍を越えた神の国』のしるしがある。今

緑ヶ丘教会(名古屋市中区)で10月16日、緑区(ペルー)で10月16日、奇跡の主(セニョール・デ・ロス・ミラゲロス)を祝う行列とミサが行われた。豊橋や三河、名古屋近郊に在住するペルー人や日本人ら約300人が参加した。行列とミサでは増田健神父が主司式し、ヤマスジュゼップ神父、

《「みんなの教会」》 司教は「私たちは外国人と接することで変えられる。そうすることで、この国が少しずつ豊かになっていけばと思う。名古屋教区はいろいろな国のたくさんの外国人がいる。私たちの教区に、『国籍を越えた神の国』のしるしがある。今



父は集まったペルー人を聖水で祝別した。そしてかかえられた神輿に花を捧げ、聖画に触れて神からの祝福を受けていた。行列の最後に聖堂前の広場で、慕いはペルーの伝統的な踊りが繰り返された。男女の情熱的な踊りは会場を魅了した。 聖堂に神

《「みんなの教会」》 司教は「私たちは外国人と接することで変えられる。そうすることで、この国が少しずつ豊かになっていけばと思う。名古屋教区はいろいろな国のたくさんの外国人がいる。私たちの教区に、『国籍を越えた神の国』のしるしがある。今

《「みんなの教会」》 司教は「私たちは外国人と接することで変えられる。そうすることで、この国が少しずつ豊かになっていけばと思う。名古屋教区はいろいろな国のたくさんの外国人がいる。私たちの教区に、『国籍を越えた神の国』のしるしがある。今

《「みんなの教会」》 司教は「私たちは外国人と接することで変えられる。そうすることで、この国が少しずつ豊かになっていけばと思う。名古屋教区はいろいろな国のたくさんの外国人がいる。私たちの教区に、『国籍を越えた神の国』のしるしがある。今

《「みんなの教会」》 司教は「私たちは外国人と接することで変えられる。そうすることで、この国が少しずつ豊かになっていけばと思う。名古屋教区はいろいろな国のたくさんの外国人がいる。私たちの教区に、『国籍を越えた神の国』のしるしがある。今

《「みんなの教会」》 司教は「私たちは外国人と接することで変えられる。そうすることで、この国が少しずつ豊かになっていけばと思う。名古屋教区はいろいろな国のたくさんの外国人がいる。私たちの教区に、『国籍を越えた神の国』のしるしがある。今

教区の皆さま

2016年10月20日

小教区における社会委員会設置について

教区司教 松浦信郎

10月2日に開催された教区宣教師評議会にて、各小教区に「社会委員会」を設置することが決まりました。この委員会は司教教書の中に示されていますが、その前段階として、すでに教区レベルの3つの委員会(社会福祉委員会、正義と平和委員会、難民移住移動者委員会)をつなげる「社会福音化推進部」を立ち上げ、協力して動き出しています。

委員会の設置
1、小教区に複数名からなる社会委員会を作ります。小さな小教区でメンバーがいないうちでも、必ずどなたか窓口になる方を決めます(基本的には担当者ではなく、委員会で)

2、小教区にすでに福祉委員会や正義と平和委員会など、社会に向けた委員会がある場合、それを「社会委員会」と改名し、社会に関するあらゆることを包含するようにならせます。

委員会の役割
1、社会委員会の役割は、皆が社会に関心を持ち、個人や小教区として祈り、活動するために、どうすれば良いかを検討し、そのために奉仕することです。係りでないので、委員の人だけが活動するのではなく、お、教区社会福音化推進部の事務局(担当:畑村、Sr宇田)は福音館にあります。

2、まず、教区(社会福音化推進部)の役割は、皆が社会に関心を持ち、個人や小教区として祈り、活動するために、どうすれば良いかを検討し、そのために奉仕することです。係りでないので、委員の人だけが活動するのではなく、お、教区社会福音化推進部の事務局(担当:畑村、Sr宇田)は福音館にあります。

3、社会の問題には賛否両論があるので、教区がなぜそのような問題に関わるのかについて学ぶ機会を作ります。具体的な問題なので、一人ひとりの考えの違いを尊重します。

4、普段から活動に関するいろいろな情報を集め、小教区の中で、ボランティアや何らかの行動を希望する人が出てきたときに、連絡先や活動内容を提供できるようにします。

教会の本来の目的は、神の国の実現のため「しるしとなり道具となる」ことです。神の国の実現は「終末」においても、キリストによってこの世にもたらされ、この世で実現していくように私たちに託された使命なのです。具体的には、すべての人が神の子としての尊厳が守られ、平和のために働くという使命です。従って、私たちの教会の最大の関心事は、この世界で生きる人々がどんな状況にあるのかという点であり、そのために教会の扉を開いて出て行かなくてはなりません。これは、関心のある人だけがすることではなく、教会全体の本質的な使命なのです。この本質的な使命を生かすために社会委員会を設置するのです。

- 人事
青少年司牧部...コーディネーター 伊藤大有(東山教会)
*青年委員会 担当司祭 片岡義博(富山教会)、暮林響(神言会)
*中高生会 担当司祭 伊藤大有
*教会学校教師会 担当司祭 北村雅彦(聖心教会)
社会福音化推進部...コーディネーター 早川努(岡崎教会)
*社会福祉委員会 担当司祭 山野聖嗣(港教会)、七種照夫(五反城)
*正義と平和委員会 担当司祭 竹谷基(多治見教会)
*難民移住移動者委員会 担当司祭 島袋幹男(押切教会)

WYDに参加しての感想
「ソファを抜け出して歩んだ道」



WYDは、初めて自分の意志でカトリックという信仰と向き合うのと同じ時に、今までの自分の生き方とも向き合うきっかけとなりました。私は幼児洗礼だったので、ただなんとなく自分はクリスチャンであると思うだけでした。中学生になってから10年近く教会にはあまり行かなくなっていました。増田神父様に今回のWYDを教えてもらい、学生最後のチャンスというところで「この機会を逃したら私は一生後悔する」と思い、一切の迷いもなく参加を決意しました。不安なこともたくさんありましたが、その思いに反して就職活動もすんなり終わり、教会からも多くの支援をしていただき、自分はWYDに行く運命なのだと感じると同時に、自分の信仰と向き合おうと心に決めました。母はいつも私に「これは神様が決めたプランなのよ」と言っていました。母が、まさにそうだったのだなと今では強く思います。

WYDを通して本当に多くの人と出会いました。国籍の違う人ももちろん、洗礼を受けるか悩んでいる人、トラウマを抱えている人、体の不自由な人。そして知るべきであったのに知らなかった世界での出来事や、憎んでいないかにも気づき、いかに自分が無知であるかということに痛感しました。教皇様がミサでおっしゃっていたように私はソファの上の幸福にあぐらをかき、楽をしてただなんとなく生きてきたように思います。

今年はいつくしみの聖年ということで「いつくしみ」について考える機会がたくさんあります。神様がたたくときもそばにいてくださり、私たちがどんなことをしてもゆるし、受け入れ、愛してくださる、司教様も教皇様もそう話して下さいました。こうした話を聞いて私はゆるすことの難しさを改めて感じました。ゆるすという行為は、ある意味でとても理不尽なこと、それをどれだけ受け入れることができるのか。分かち合いの中で主の祈りの「わたしたちの罪をおゆるしくくださり、わたしたちも人をゆるします」という部分に抗いながら、自分が何人かゆるすことができるのか、自分に問いかけることがあるそうです。それでも口を揃えて、ゆるせるように努力したいと言っていました。また、日本巡礼団での最後のミサの説教で幼い頃に日本兵に両親を殺されたフィリピンのシスターのお話を司

祝！神言神学院落成50周年



植樹する永山管区長

神言神学院落成50周年を記念する神言修道会八事修道院(神言神学院)のオープンハウスが「世界宣教の日」に当たる10月23日に行われた。院長のリアヌス・パレ・ヘラ神父主司式による記念ミサが捧げられた。ミサは、ヘラ神父の「オープンハウスによるこそ。神言神学院の落成50周年と、神言神学院聖堂の献堂50周年を祝います」との挨拶で始まった。

説教はアントニオ・サガヤラジ神父が担当。サガヤラジ神父は「神言神学院50周年！感謝の祈り」を唱えた。そして、この50年の間、様々な国籍、文化の人々をこの神言神学院に呼び寄せ、守り、養い育ててもらったことに、神様、そして、すべての人々への感謝を強調した。また、「世界宣教の日」に当たり、司祭、修道者に限らず、私たちは、「福音を述べ伝え、人々をイエスに近づけ、その道を教えることはならない。そのために、福音を自分のものにしなければなら

ない。へりくだって、謙遜になって、自分のすべてを神様にゆだねて、その恵みによって、自分が生きる」と、促した。ミサに続き、「養成における正義」と題して、成井大介神父による「Peace and Integrity of Creation/正義と平和と被造物の保全」のプロデュースとして活動中。神父はまず、神言会のIPCの基本要素や取り組みについて説明した。そして、国際社会で災害復興や医療支援など多くの支援活動が行われているが、それらの活動とカトリック教会の活動との違いについて、霊性と神学に言及して話した。また、神言会の創立者アーノルド・ヤンセン神父が貧しい人々に寄り添うために、1875年、会を創立したその経緯や、アーノルド神父が自然科学者として、被造物を通じて神の存在を感じる感性が非常に強かったことなどを語った。神言会の神学生が養成期間中、貧しい国に派遣され

一定期間そこで奉仕するのは、会の創立者の意向に基づいているとも話した。最後に、成井神父は「カトリック信者として、神言会者として、私たちが美しい絶対色を持たなければならぬ。その色がポンプン匂うような宣教師にならなくてはならない」と結んだ。ミサ後、全員広場に集まった中、落成50周年を祝い記念植樹が行われた。永山誠神言会管区長、ヘラ院長、石橋泰助神父、神学生代表がみじを植えた。1時過ぎにパーティーが始まり、参加者はテーブルに並べられた美味い肉料理やお寿司などを味わいながら歓談を楽しんだ。会間を見て神学生、ザビエルハウススタッフ、OBの自己紹介も行われた。サイドボードには神学生らを紹介するパネル写真も展示されていた。

続いて、神学生先導による同院内の見学ツアーが行われた。見学参加者は閲覧室、神学生の部屋、地下聖堂などを興味深げに見て回った。一室では神言神学院献堂50周年を振り返る神学院の模型や、写真などが所狭しと展示されていた。イベントの締めは、神学生お見立ての景品が当たる「お楽しみ抽選会」が行われ、大いに盛り上がった。最後は「サルヴェ・レジーナ」を全員で歌い、感謝のうちに今年度のオープンハウスは終わった。



講演される成井神父

宣教司牧評議会北陸ブロックが今、熱いひとつになろうキリストのうちに 富山で地区大会



富山県にある4つの教会の地区大会が10月16日、富山教会で行われ、富山地区の信徒200人ほどが集った。

富山地区の福音宣教に将来の富山の福音宣教について考える機会として、コンセプトをしっかりともち、その準備過程を大切にしながら一年近く取り組んできた。

富山地区の4つの教会の主任司祭である長谷川潤神父(フランシスコ会)は、富山の特色・性格(キャラクター)として、越中富山の「葉元り」にたとえ、「わたしたち一人ひとりが、キリストを人々に運び、人々を癒し、生きる力をもたらす『神のいつくしみの奉仕者』として、役割を主から頂いている。このためにお互いが祈りつつながら、協力し、支え合う『画』としての信仰共同体をつくっていききたい」と働きかけた。

また、ミサ後にはシンポジウムが行われた。富山の信徒一人ひとりが考えた5、10年先の教会像について信徒代表が発表、問題提起し、それに基つき松浦司教が昨年発表された司教教書に沿った形で、示唆を与えた。

松浦司教は、信徒が掲げた4つの問題提起に対して、「わたしたちは、主の祈りがあるように、『み国が来ますように』、『神様の望まれていることが地上で起こりますように』という目的のために、そのお手伝いをするために歩んでいる。神さまの国とは、一人ひとりが大切にされ、世界中の人と仲良くなること、それが望みである。誰もが大切にされ、平和であることが、神の国のはじまりです。」と信徒に語りかけ、一つひとつの問題提起について助言を与えた。そして、結びに松浦司教は「今回のこの富山地区の取り組みが、名古屋教区にあるブロック(地区)のモデルケースとなっていくと思う。感謝している」と信徒を励ました。

シンポジウム後には、交流会が行われ、それぞれの教会やグループで料理や出し物を持ち寄り、分かち合い、地区の深まりを確認し合った。

編者 日本カトリック司教協議会「今こそ原発の廃止を」編集委員会 定価 本体1800円+税8% 問合せ・ご注文 カトリック中央協議会・出版部 ☎03-5632-4429/FAX 03-5632-4456

宣教司牧評議会北陸ブロックだより

北陸ブロック7教会 キャンプとお泊り会

子どもの数も少なくない、夏休みにそれぞれの教会では企画することが難しくなっている

今夏は北陸ブロックの教会の子どもたちに呼びかけて、7月31日、8月1日教質の水島浜黙想の家にておこなった。

キャンプやお泊り会を、魚津、小矢部、高岡、富山)から35人もの子どもたち、そしてリーダーたちを含めて50人を超える参加者となった。

予想に反して北陸7教会の枠を越えて、子どもたちはたくさんのお友達と遊



び、バーベキューや花火を楽しんだ。2日目の朝には広

い芝生で輪になって「主食の食卓」を囲んだ。その日の福音は「5つのパンと2匹の魚」。それぞれ

味わった体験が子どもたちの心と体の成長を豊かなものとしてくれるだろう。

金沢教会 50人でデイキャンプ

今回一緒に参加できなかった金沢教会は、子ども

もあって、7月24日にデイキャンプを開催。こちらも30人の子もたち、リーダーとスタッフを含めて50人近い集まりとなった。

8月20日・21日に、北陸巡礼を企画した布池教会の中高生15人が富山を訪問。今回はそれに合わせて富山4教会の中高生たち10人も合流し、高岡教会で合同のお泊り交流会をおこなった。

布池教会中高生と富山4教会の中高生 交流合宿で親睦



教会探検では、クリストフォロ神父が60年以上前、戦後で困っていた日本の子どもたちのために役立ちたいと思って、イタリアから船で2ヶ月かけて来日された時のことなど、貴重なお話も聞くことができた。



子どもたちは夜通し一緒に、楽しく親睦を深めた様子だった。翌日は早朝に、涼しい高岡古城公園を散歩し、高岡城の縄張(設計)を手がけたといわれる高山右近像の前で祈りをし、その後、高岡教会の皆と主日のミサをささげた。たくさんのお若者たちのエネルギーギッシュなミサは、高岡教会の信徒の皆さんにもパワーを与えた。

聖パウロ女子修道会(聖パウロ書院)からお知らせ

「ロザリオの祈り」

日時 毎月第2日曜日 午後2時から。12月11日、2017年1月8日、2月12日、3月12日

「読書会」

日時 毎月第3土曜日 午後2時~3時30分 12月17日

場所 いずれも聖パウロ書院
対象者 どなたでも参加できます。
問合せ ☎052-936-4443
担当・Sr 永峰、Sr 森

『今こそ原発の廃止を』 一日本のカトリック教会の問いかけ



本書は日本司教団が、核エネルギー利用の歴史をひもとき、原発事故の当事国の責任を問い、核技術に関する科学的な解説にカトリックの教理と現代のエコロジーとを踏まえて核をめぐる倫理的な考察を展開し、最後に自然エネルギーの可能性に言及して新たなライフスタイルへの転換を呼びかけている。

コルカタの聖テレサ 列聖記念ミサ



貧しい人々のために、いつくしみ深い愛で奉仕したマザー・テレサ(1910~97年)が9月4日、バチカンで「コルカタの聖テレサ」として列聖された。これを記念するミサが11月3日、松浦悟郎司教主司式により、名古屋カテドラル大聖堂で行われた。マザーの生き方に共感し、敬うことを願う人たちが、大聖堂は数十人が立ち見となる満席状態となった。祭壇中央には、列聖式で掲げられた、暗闇の中でほほ笑むマザーの肖像画

のレプリカが置かれた。松浦司教は説教で、まず、マザー・テレサが列聖されたことに、「今の時代に一番正しい聖人の人々に与えられた」と述べ、聖テレサの持つ二つの眼差しに目を向けることを促した。その一つは、「この世界で最も貧しいとされた人たち、愛されるところから切り離されてしまった人たち、孤独の中で『お前は必要ない』と言われるような悲しい思いをした人たちへの聖テレサのやさしい眼差し」と司教。「あなたはとても大切な人です。あなたは愛されています。貧しい人のところへ、政府の要人のところへ、私がこう生きるというところへ、マザー・テレサはどこへでも出かけた。言動についてマスコミからいろいろと批判されたこともあったが、『聖テレサはひとつの確信があるため、どう思われるかというものを越えていた。彼女の揺るぎない姿は、神の中に自由な解放された生き方である』と司教は説いた。

「あなたは聖人にならうか?」との質問に、マザー・テレサは「私は聖人にならうとしたら、暗闇の中に消えていく。この現実を見て、父なる神様ははらわたが引きちぎれるほどの思いをして駆け寄ってきた。そのいつくしみ深い神様の姿が、キリストによってそのまま現れた。キリストが十字架の上で引き裂かれた姿は、この人々に対する父なる神の思い、やさしさ、いつくしみである。そのイエスを信じる、そのイエスと分かれ合う聖テレサは、父なる神と同じ思いを持って、この貧しい人々を受け留めたのでしよう」

また、司教は、聖テレサの小柄な体の中に、揺るぎない、しっかりとしたものを感じると言い、「彼女はブレなかった」と力を込めた。マザー・テレサは脚光を浴びていき、いろいろなところに引っぱり出された。王様に呼ばれれば王様のところへ、ノーベル平和賞の時はそのへ、政府の要人のところへ、「私がこう生きるというところへ、マザー・テレサはどこへでも出かけた。言動についてマスコミからいろいろと批判されたこともあったが、『聖テレサはひとつの確信があるため、どう思われるかというものを越えていた。彼女の揺るぎない姿は、神の中に自由な解放された生き方である』と司教は説いた。「あなたは聖人にならうか?」との質問に、マザー・テレサは「私は聖人にならうとしたら、暗闇の中に消えていく。この現実を見て、父なる神様ははらわたが引きちぎれるほどの思いをして駆け寄ってきた。そのいつくしみ深い神様の姿が、キリストによってそのまま現れた。キリストが十字架の上で引き裂かれた姿は、この人々に対する父なる神の思い、やさしさ、いつくしみである。そのイエスを信じる、そのイエスと分かれ合う聖テレサは、父なる神と同じ思いを持って、この貧しい人々を受け留めたのでしよう」



あいさつするSr.マリア・ローザ

第13回AJUワインフェスタ in 多治見修道院

美味しく、楽しく、盛大に開催 皆様の温かいご支援ありがとうございます

「AJU自立の家が扱った各国のワインを青空のもとで味わう」をテーマとした「第13回AJUワインフェスタ in 多治見修道院」が11月3日、岐阜県多治見市の神言修道会多治見修道院の広場で開かれた。午前9時半に開場の予定だったが、開場時の雨で中止となり、是非の入口にはワイン愛好者らが並び開場を待った。今年も15分繰り上げての開

場となった。オープニングステージで開会式が行われ、AJU自立の家の専務、山田昭義さんが「第13回ワインフェスタにお越しいただきありがとうございます。小牧ワインナリーも順調に育っています。そこで作っている、ななつぼしワイン、も販売しています。是非「賞味下さい」と挨拶をした。小野直彦実行委員長、古川雅典多治見市長、多治見修道院の及川正神父、他の挨拶とゲストの紹介が行われた。引き続き小牧ワインナリーで働く31人とボランティア14人の紹介が行われ、女性ソムリエールの島幸子さんの乾杯でフェスタがスタートした。

青空のもと広場ではワインを片手に美味しいチーズやパン、お肉などの料理を楽しんだ。広場の周りには20以上の出店が並び、多くの客が行列を作って買い求めている。葡萄酒の下ではお弁当を広げてランチを楽しむ家族連れや、青年男女のグループ等がワインを楽しんでいた。

ステージでは島幸子さんのワインセミナーや中部楽器技術専門学校演奏、河原崎辰也さん、ケン・バルデイスさんのミニライブもあり会場を大いに盛り上げた。また修道院の大食堂では天野鎮雄さん、山田昌さんの朗読会が行われた。

ワイン販売コーナーではワインの試飲や2016年新酒ワイン販売も好評で、一人で20本を買って帰る客もいた。AJUワインフェスタ実行委員会の発表によると今年の来場者は3800人以上とのこと、感謝の内に一日楽しく共に過ごせたワインフェスタだった。



多治見修道院のワインフェスタの様子

「2017年キリスト教一致祈禱週間」のパンフレット・ポスターのご案内



2017年のキリスト教一致祈禱週間が、2017年1月18日(水)~25日(水)、全世界で行われます。テーマは「和解—キリストの愛がわたしたちを駆り立てています」(二コリント5・14-20参照)です。今回は、ドイツ・キリスト教会協議会が準備しました。宗教改革500年にあたる2017年に、ドイツの教会とともに、世界に広がる教会と心を合わせてキリスト者の一一致を祈りましょう。カトリック中央協議会と日本キリスト教協議会は、キリスト教一致祈禱週間のために小冊子『2017年キリスト教一致祈禱週間』およびポスターを作成しました。小冊子は、世界教会協議会(WCC)と教皇庁キリスト教一致推進評議会が共同発行した資料にもとづいてあります。パンフレット・ポスターのご注文は下記宛にて希望部数をお知らせ下さい。パンフレット・ポスターは無料ですが、送料のご負担をお願いします。ご注文は2016年12月9日迄。ご注文・問い合わせ

カトリック中央協議会・エキュメニズム部門
〒135-8585 東京都江東区潮見2-10-10
☎03-5632-4445 Fax 03-5632-4465

この小冊子は、キリスト教一致祈禱週間だけでなく、一致を求める個人の祈りや共同の祈りのために年間を通して用いることができるよう配慮されています。

聖パウロ書院から 年末年始のお知らせ

12月23日(祝) 通常通り
12月24日(土) 10時~19時30分迄
12月25日(日) 10時30分~お昼迄
12月26日(月) } 通常通り
12月29日(木) }
12月30日(金) } お休み
1月3日(火) }

よろしくお祈りいたします。

2016年後期 青年のための聖書の学び

自分の人生を切り開きたい若者たちへ あなたの道を切り開くのはあなた!です。

対象 青年男女(18~32歳)
場所 聖マリアの無原罪教育宣教師会名古屋修道院
時間 午後2:00~7:50(高校生4:30まで)
時間割 1:30~ 玄関を開けます 2:00~ 聖書「学び」 3:30~「分かちあい」
4:00~4:30 おやつ(高校生4:30まで)
4:30~5:45 生活の分かち合い、個人の祈り霊的読書、散歩など
共同体と共に祈りと食事をする
5:45~ 御聖体礼拝、晩の祈り、夕食(食費:自由献金)
7:45~ 絆明 サルヴェ・レジナ 終了
福音書 ルカ福音書13章~16章を学びます
12月18日、2017年1月15日、2月19日
連絡先 (052)782-5850
名古屋千種区園山町1-56 聖マリアの無原罪教育宣教師会
担当者 シスター碓(いかり)政子
FB 青年のための聖書の学び HP <http://www.concepcionistas.jp/>

緊急募金のお願い

福信館の炊き出し活動は本年、深刻な財政難に悩まされ、いつ、活動停止に追い込まれてもおかしくない状況にあります。しかし、名古屋教区の炊き出し活動は、社会的に弱い立場に置かれた人々に対して神のいつくしみを示す重要な活動として認められており、けっして途絶えさせることがあってはなりません。

そこで教区宣教師評議会では、教区全体の緊急課題として経済支援を行うことを決議し、社会福音化推進部から呼びかけることとなりました。

厳しい財政はいずれの共同体でも同様のことは存じますが、福信館炊き出し活動支援の優先順位を繰り上げて、緊急に援助していただきますようお願い申し上げます。

各小教区には名古屋教区本部事務局あての郵便振替用紙を同封してお願いの文書をお送りしました。すでに献金くださった皆さまには心より感謝申し上げます。

名古屋教区社会福音化推進部
コーディネーター 早川 努

—御父のいつくしみに支えられて—

めぐみかん
ガンバル!!

.....by あこ

クリスマス迷路!
イエス様に導いてくれるのはどの星でしょう?

ゴール
Merry Christmas!

- (祭) 祭日(祝) 祝日(記) 記念日
- 12月の教会暦**
- 3日(土) 日本宣教の保護者聖フランシスコ・ザビエル司祭(祝)
 - 4日(日) 待降節第2主日 宣教地召命促進の日(献金)
 - 7日(水) 聖アンブロジオ司教教会博士(記)
 - 8日(木) 無原罪の聖マリア(祭)
 - 11日(日) 待降節第3主日
 - 13日(火) 聖ルチアおとめ殉教者(記)
 - 14日(水) 聖ヨハネ(十字架の)司祭教会博士(記)
 - 18日(日) 待降節第4主日
 - 25日(日) 主の降誕(祭)
 - 26日(月) 聖ステファノ殉教者(祝)
 - 27日(火) 聖ヨハネ使徒福音記者(祝)
 - 28日(水) 幼子殉教者(祝)
 - 30日(金) 聖家族(祝)
- 1月の主な教会暦(主日・祭日など)**
- 1日(日) 神の母聖マリア
 - 8日(日) 主の公現
 - 15日(日) 年間第2主日
 - 18日(水) 25日(水) キリスト教一致祈禱週間
 - 22日(日) 年間第3主日
 - 29日(日) 年間第4主日
 - カトリック児童福祉の日(献金)

- 12月**
- 6日(火) 司教常任委員会/子どもと女性の権利擁護のためのデスク
 - 14日(水) 15日(木) 司教勉強会
 - 12日(木) 司教常任委員会
 - 24日(火) 南山学園評議員会
 - 26日(木) 28日(土) 外キ協全国会議
- 1月**
- 4日(水) 教区本部事務局仕事始め
 - 7日(土) 宣司評運営委員会*
 - 8日(日) 城東B会議/三河B会議
 - 9日(月) 濃尾B会議
 - 10日(火) 樹の会
 - 15日(日) 新成人を祝う新年の集い*/教区中高生会
 - 19日(木) 司祭月集*/教区顧問会*
 - 22日(日) 七尾教会ミサ*
 - 28日(土) 殉教者顕彰委員会/青年委員会/典礼委員会/JCN A
 - 29日(日) 教会学校教師会

教区行事以外の松浦司教予定

- 6日(火) 司教常任委員会/子どもと女性の権利擁護のためのデスク
- 14日(水) 15日(木) 司教勉強会
- 12日(木) 司教常任委員会
- 24日(火) 南山学園評議員会
- 26日(木) 28日(土) 外キ協全国会議

告知板

▼岡崎教会のFAX番号が変わりました。FAX 0564-164-121

▼教区行事の名称変更のお知らせ
信徒使徒職協議会主催「司教様を囲む新年の集い」は名古屋教区主催「新成人を祝う新年の集い」に名称と主催者が変更となりました。

◆12月の炊き出し
木1日東山、8日布池、15日聖霊・南山・樹の会、22日城北橋、29日越冬
金2日喜望の会、9日恵方町、16日長浦、23日南山、30日越冬



ヨハネ・ボスコ山井 滋神父(名古屋教区) 10月30日午前5時45分、肺炎で入院先の名古屋医療センター

タリーにおいて心不全のため帰天。74歳。1942年7月に長野県南佐久郡川上村生まれ。73年10月司祭叙階。翌年4月鳴海教会助任、75年4月鳴海教会主任。98年4月美濃加茂教会主任。07年9月からは布池教会助任として弱い立場の人々について寄り添って神のいつくしみを示していた。

ヨゼフ横川満雄(社会福祉法人カトリック名古屋教区報恩会会長) 10月21日、自宅で心不全のため帰天。91歳。子どもたちの養護に捧げつくり生涯を送った。

名古屋教区本部事務局の年末年始の予定

教区本部事務局は下記の通りお休みとなります。ご不便をおかけしますが、ご了承ください。

12月27日(火) 仕事納め
12月28日(水) 仕事納め

2017年1月3日(火) お休み
1月4日(水) 仕事始め

スピリチュアルケア研究会の講演会

日時 12月10日(土) 13:30~16:30
会場 南山大学名古屋キャンパスD棟D41教室(地下鉄「八事日赤前」下車)
テーマ 「スピリチュアルケアと死者のリアリティ〜レクイエムとしての和学」
講演者 第1講演 坂井祐円(真宗大谷派僧侶・スクールカウンセラー)
第2講演 まどかアッセマ康代(南山大学心理人間学学科准教授)

参加費 1000円 事前に申込みを頂けると幸いです
主催 スピリチュアルケア研究会(名古屋)
日本人間性心理学会自主研究会
問合せ スピリチュアルケア研究会(名古屋)
代表 井川 ☎070-5643-2578
E-Mail erat_lux_vera-purchase@yahoo.co.jp

神言会多治見修道院・黙想会

閑静な場所、広い院庭で黙想と心身の保養を!

12月3日(土) 10:00~4日(日) 16:00 指導: 及川神父
イエスは言われた「恐れるな、あなた方は沢山の雀よりまさっている」と(マタイ10の31) 対象: 信徒

1月21日(土) 10:00~22日(日) 16:00 指導: 及川神父
イエスは言われた「私の名のためにこの子供を受け入れる者は、私を受け入れるのだ」と(ルカ9の48) 対象: 信徒

2月18日(土) 10:00~19日(日) 16:00 指導: 及川神父
イエスは言われた「あなた方は蛇のように聡く、鳩のように素直になりなさい」と(マタイ10の16) 対象: 信徒

※申込み方法、宿泊費、食事、謝礼などは多治見修道院研修センターにお尋ねください。☎0572-22-2038、携帯090-7696-8089、Fax 0572-22-2076。多治見研修センターの営業時間は午前9時~午後4時半まで。

名古屋一日静修

特別黙想会のご案内
《テーマ:「神のいつくしみに気づく」》

日時 12月3日(土) 午後5時受付 ~ 4日(日) 午後4時
場所 宇治聖テレジア修道院(黙想) 指導司祭 九里 彰 神父
費用 一泊食事付(夕・朝・昼) 6000円
申し込み 下記いずれかの方法でお申込み下さい。
FAX / 0568-62-5167 mail / seisyuu_2015@yahoo.co.jp
ハガキ / 〒484-0076 犬山市橋爪一丁目1-26
「名古屋一日静修」係
申込締切 11月26日(土)
その他 どなたでも参加できます。
〈カルメル修道会主催 名古屋カルメル在世会協賛〉

東日本大震災・災害支援金の報告

発災時より社会福祉委員会へ振込まれた支援金を下記の通りご報告いたします。暖かいご支援に心より感謝いたします!!

(振込手数料引去後の金額)

項目	2011.3.17 発災から 2016.9.30までの合計		2011.3.17 発災から 2016.10.31までの合計	
		単月明細 10/1~10/31		
収入				
支援金総額	25,584,529	(※2) 41,751	25,626,280	
(※1) チャリティーワイン販売	894,160	0	894,160	
収入合計	26,478,689	41,751	26,520,440	
支出				
カリタスジャパンへ	9,544,038	0	9,544,038	
さいたま教区	1,000,000	0	1,000,000	
オールジャパン会議交通費	123,620	0	123,620	
大船渡プロジェクト支援	13,156,234	0	13,156,234	
ベースへ車いす4台贈呈	123,200	0	123,200	
ベースへピアノ贈呈	58,800	0	58,800	
支援ボランティア交通費	471,150	0	471,150	
支出合計	24,477,042	0	24,477,042	
単月・支援金残高	2,001,647	41,751	2,043,398	
支援金残高合計			2,043,398	

(※1) チャリティーワインとは 司教着座記念ラベルワインと3.11東北震災支援ワインを販売。1本2000円で販売し内500円が災害支援金となりました。ご協力ありがとうございました。(販売終了致しました)

(※2) 10月度に支援金のご協力いただいた小教区・個人(敬称)

金沢教会

★名古屋教区は「カリタス大船渡ベース・地ノ森いこいの家」とNPO法人「障がい者自立センターかまいし」と大阪教会管区として2016年10月から新たに「カリタス米川ベース」を応援しています。

★支援金振込先 郵便振替用紙にて
口座番号 00880-6-1628
名義 カトリック名古屋教区社会福祉委員会
「東日本大震災・災害支援金」と記入願います。

ご連絡・問合せ先
社会福祉委員会
電話 052-852-1426
FAX 052-852-1422